

大理石汚染物質付着・除去試験

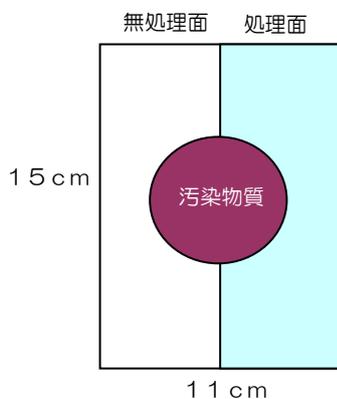
【試験の目的】

- ・大理石に各種汚染物質を付着させ、定められた期間を試験室内にて付着状況を保持した後、流水にて洗い流し処理面と無処理面の比較を行ないSITコートS処理面の耐汚染性の実証を行なう。

【試験の概要】

- ・約15 cm×11 cmの試験板を縦方向右半面をSITコートS処理して、中心部に円形状に汚染物質を塗布する。

《大理石（白）試験板》



- ・塗布汚染物質は以下のものとする。

- ① 醤油（原液）
- ② コーラ（原液）
- ③ チョコレート（湯煎で溶かしたもの）
- ④ 植物油（原液）

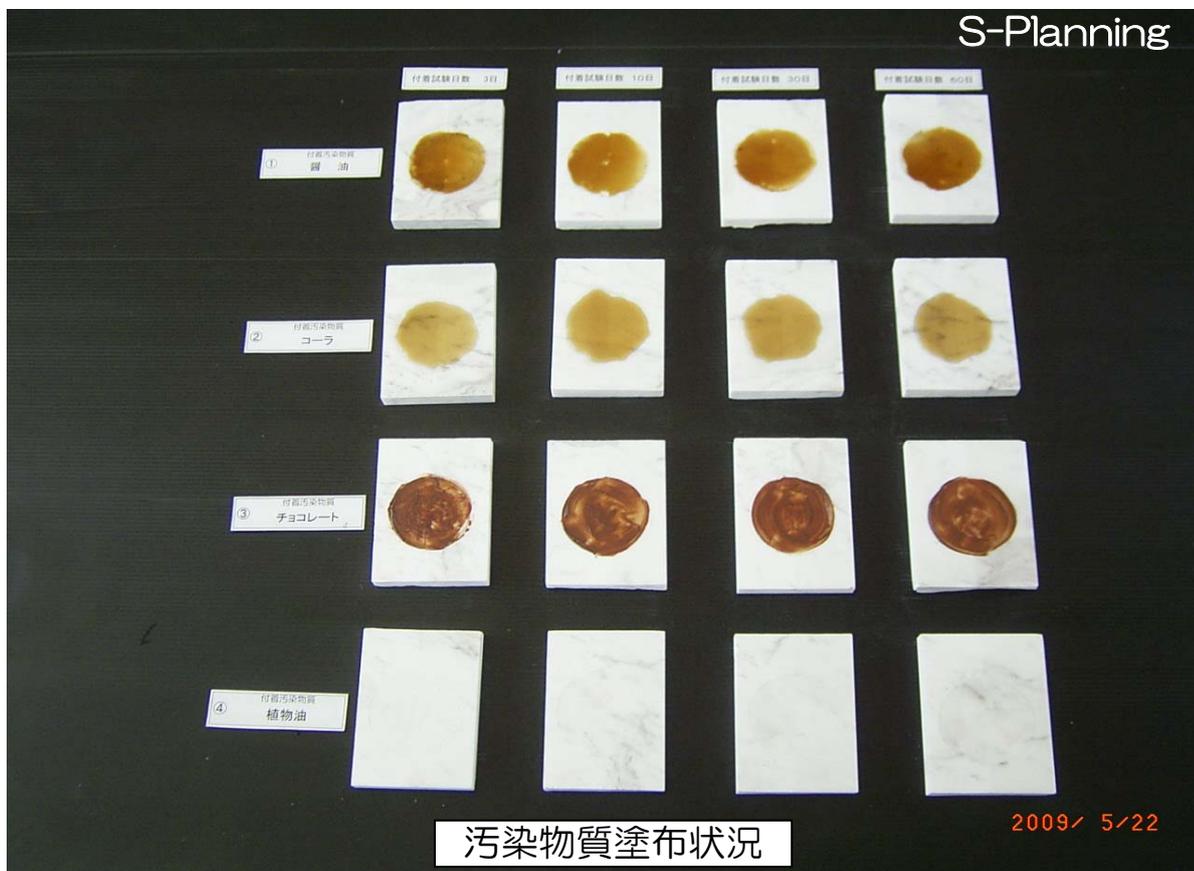
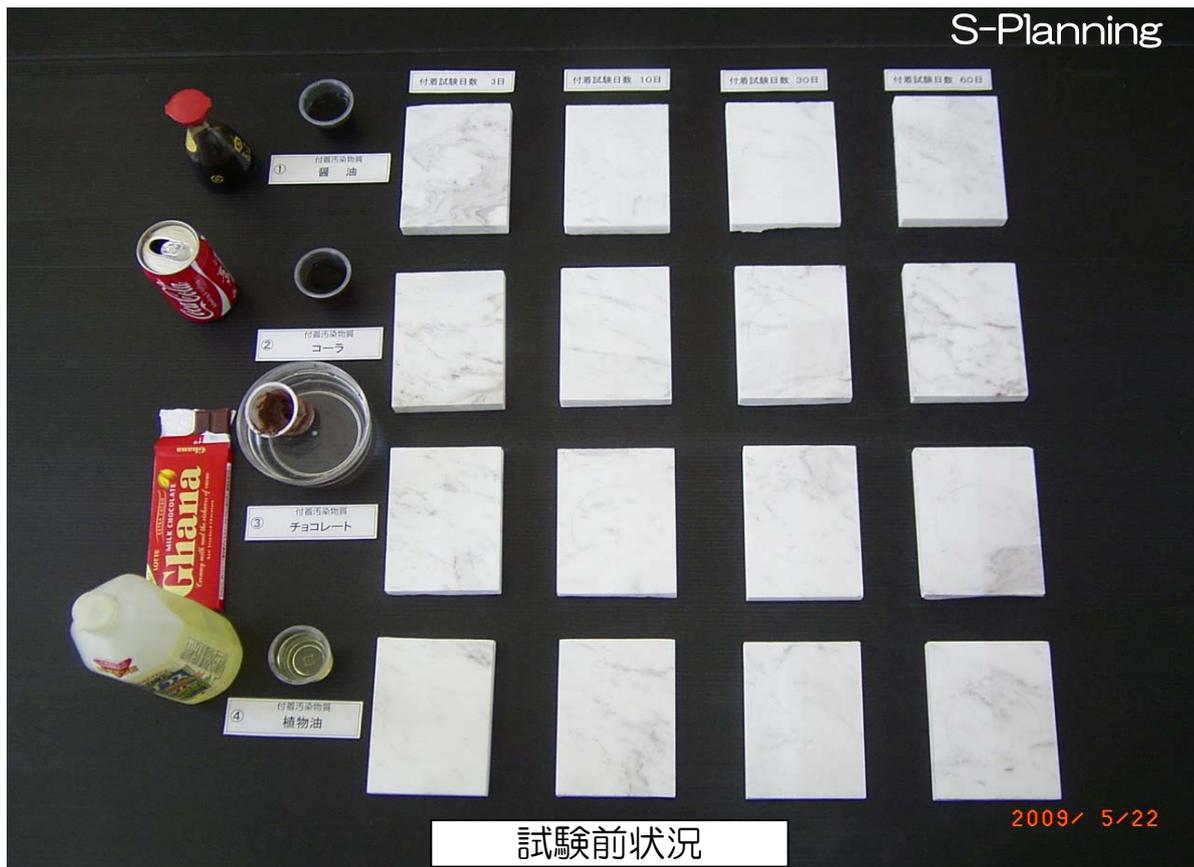
- ・汚染保持期間は以下の通りとする。

- ① 3日間
- ② 10日間
- ③ 30日間
- ④ 60日間

- ・以上を各1枚の試験板で試験を行なう。
- ・汚染保持期間を経過した時点で①②は両面を流水で洗い流す。
- ・汚染保持期間を経過した時点で③は両面を温水で洗い流す。
- ・汚染保持期間を経過した時点で④は両面アルカリ洗浄材で洗い流す。
- ・試験板乾燥後に目視にて汚染付着状況を確認する。

【試験の日程】

- ・試験板作成日時 平成21年5月18日
- ・汚染物質付着日時 平成21年5月22日
- ・試験日時
 - ①平成21年5月25日
 - ②平成21年6月 1日
 - ③平成21年6月21日
 - ④平成21年7月21日





《汚染物質除去》

- ①②は流水にて汚染物質除去
- ③は温水で汚染物質を除去
- ④はアルカリ洗浄剤で汚染物質を除去

【試験結果】

①醤油

無処理（左半面）には汚染物質が付着してしまっているのに対し、処理面（右半面）は完全に除去

②コーラ

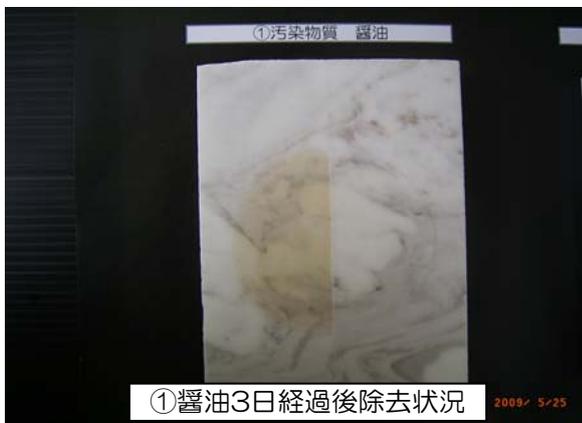
無処理（左半面）には汚染物質が付着してしまっているのに対し、処理面（右半面）は完全に除去

③チョコレート

無処理（左半面）には汚染物質が若干付着してしまっているのに対し、処理面（右半面）は完全に除去

④植物油

無処理（左半面）には汚染物質が若干滲んでいるように見える。処理面（右半面）は完全に除去（油分劣化による経過観察を行なう）





【試験結果】

①醤油

無処理（左半面）には汚染物質が付着してしまっているのに対し（3日経過時より深く汚染）
処理面（右半面）は完全に除去

②コーラ

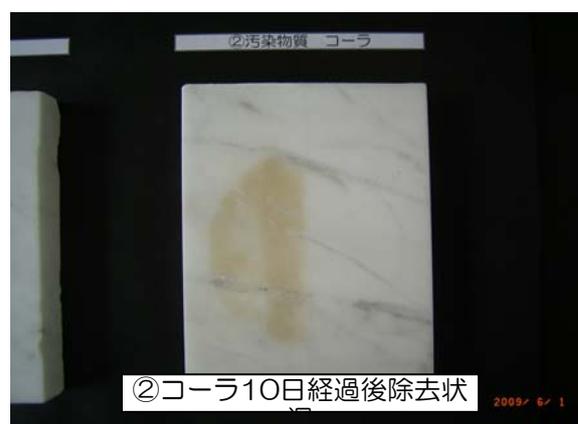
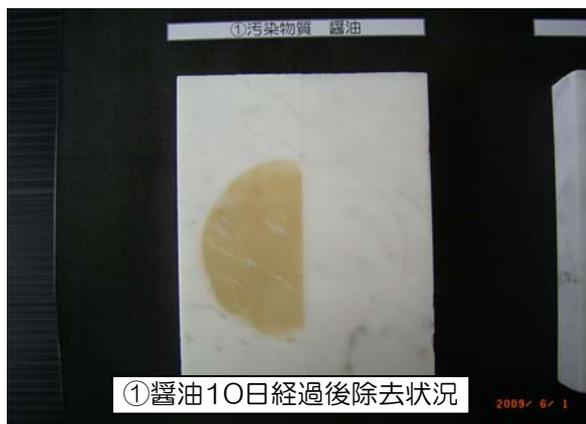
無処理（左半面）には汚染物質が付着してしまっているのに対し
処理面（右半面）は完全に除去

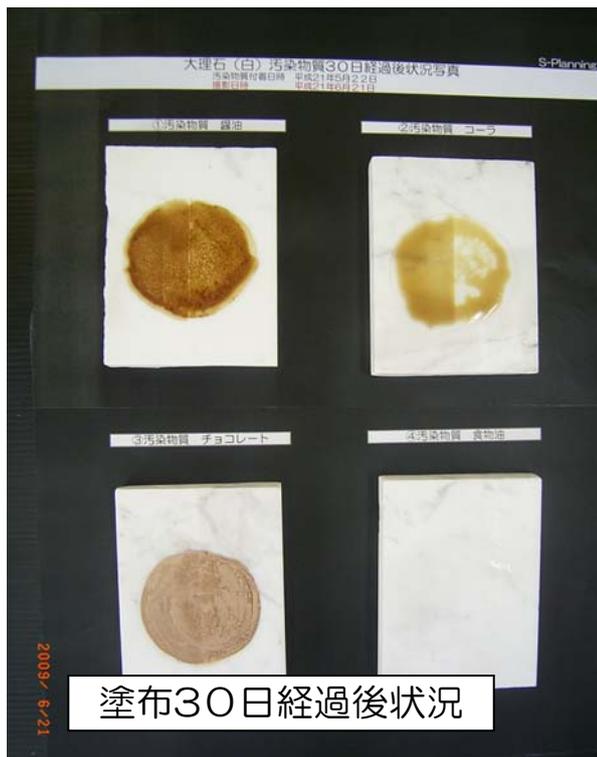
③チョコレート

無処理（左半面）には汚染物質が若干付着してしまっているのに対し
処理面（右半面）は完全に除去

④植物油

無処理（左半面）には汚染物質が若干滲んでいるように見える。
処理面（右半面）は完全に除去
（油分劣化による経過観察を行なう）





【試験結果】

①醤油

無処理（左半面）には汚染物質が付着してしまっているのに対し（10日経過時より更に深く汚染）処理面（右半面）は完全に除去

②コーラ

無処理（左半面）には汚染物質が付着してしまっているのに対し（10日経過時より更に深く汚染）処理面（右半面）は完全に除去

③チョコレート

無処理（左半面）には汚染物質が若干付着してしまっているのに対し処理面（右半面）は完全に除去

④植物油

無処理（左半面）には汚染物質が若干滲んでいるように見える。処理面（右半面）は完全に除去（油分劣化による経過観察を行なう）

